

登録コード	E9182100	開講年度	2026		
授業科目	心理支援教育ゼミナール				担当教員 向井 秀文
英文授業名	Seminar for Freshman				副担当 高橋 知音・茅野 理恵・高橋 史
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限
講義室	共通教育313演習室		授業形態	演習	遠隔授業科目
備考					
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔ 大学生生活での学習や生活の基盤となる知識・技術の習得を通して、目的意識をもって学び続ける態度を涵養すること
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔ ディスカッションを通して自らの考えをまとめ、他者に伝えることができるようになること
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	各回の担当教員が大学生活に必要なテーマについて講義を行い、学生はその内容に関連してディスカッションを行う。また、設定されたテーマについての理解を深めるために、各教員が課す課題に取り組む。				
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：図書館利用ガイダンス 第3回：文書の作り方 第4回：留学のすすめ 第5回：心理支援の仕事（福祉編） 第6回：こころの健康・大学生活のリスク対策 第7回：心理支援の仕事（医療編） 第8回：大学での学び方 第9回：情報セキュリティガイダンス 第10回：大学における成績評価 第11回：心理支援の仕事（学校編） 第12回：心理支援とコミュニケーション 第13回：フォーマルなコミュニケーションとTP0 第14回：心理に強い教員の必要性 第15回：リフレクション ＊授業最終回に授業アンケートを実施します				
(6)成績評価の方法	○振り返り課題やディスカッションへの取り組みに際して、授業の達成目標として掲げている観点を基準として評価する ・課題：60%、ディスカッションへの参加：40% ○得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可				
(7)成績評価の基準	ディスカッションや課題への取り組み、期末試験に関して、それぞれの評価割合が6割以上であれば「水準にある」、7割以上であれば「やや上にある」、8割以上であれば「かなり上にある」、9割以上であれば「卓越している」と判断する。				
(8)事前事後学習の内容	学びを深めるために、各回の授業テーマに関連する事柄について自身であらかじめ予習し、さらに、授業後にも関連する文献を各自で復習することが望ましい。				
(9)履修上の注意	欠席する際は事前に必ず担当教員に連絡すること				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	mukaih@shinshu-u.ac.jp（向井秀文）				
【教科書】	指定しない				
【参考文献】	指定しない				